

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回坂戸市社会教育委員会議
開催日時	令和5年10月11日(水) 開会：午後2時00分 閉会：午後3時00分
開催場所	坂戸市役所 201会議室
議長(委員長)	横田 政行
出席者	北原 文子、菅原 繁子、石橋 妙子、上見 雄一、 市川 なお美、横田 恒雄、田中 映子、鹿ノ戸 久美子、 久保田 美穂、杉田 義昭、小川 孝、横田 政行 12名出席
欠席者	鈴木 茂、金丸 行男、加藤 拓 3名欠席
事務局	仲島教育委員会事務局次長兼スポーツ推進課長、 清水中央公民館長、菅野社会教育課長、神社会教育課課長補佐、 田畑社会教育課主任 8名出席
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
司会(事務局) 委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ だいぶ気候もよくなり、せっかく今年の市民体育祭が行われるかと思ったが、丁度あの日だけ天気が悪くできなかった。 坂戸市卓球連盟では、今年度「第1回さかろんピンポン大会」を11月8日(水)に予定している。 今までは、会員を相手に卓球が強い人たちを集めて大会を実施していたが、今回は強い人は出てはだめという設定で、65歳以上で初心者の方、過去に1度も賞状等を受け取ったことのない人が条件として行おうと準備を進めている。 なかなか試合に出たことのない人を対象とすると、ハード</p>

<p>教育委員会事務局 次長</p>	<p>ルが高いので定員の3割程度しか集まっていない。皆さんの中にもピンポンならできるといの方がいらっしゃれば65歳以上では是非どうぞ。ダブルスで行うが、男女を問わないということで11月に初めて坂戸でもやってみようという声が上がったのが始まり。実は、似たような大会を日高市でも行っていて沢山の人が集まっている。坂戸市も公民館で卓球をする団体が30団体ほどあるが、そのうち連盟に加入している団体は4団体しかない。残りの団体は、公民館で卓球活動をして終わりとなる。そういうところを開拓して、すそのを広げていきたいというのが狙いである。皆さんも、日頃運動なさっていないことがあれば、どこかで運動するかもしれないので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>委員の皆様には大変御多忙なところ、第2回目の社会教育委員会議にご出席を賜り、感謝申し上げます。本日は、教育長、教育部長とも所要により欠席となることをお詫び申し上げます。</p> <p>さて、今年度も第3四半期に入り、各委員のご活躍により本市における社会教育に関する事業は順調に進んでおり、深く感謝申し上げます。本日は、来年度の社会教育団体への補助金交付について、教育委員会として諮問させていただくが、委員の皆様には慎重なるご審議をお願い申し上げます。結びに、夏の暑さとは変わり秋冷が日増しに加わっているが、各委員の皆様におかれましては、健康に十分ご留意なされ、今後のご活躍、ご多幸をご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。本日はよろしくお願ひする。</p>
<p>事務局</p> <p>教育委員会事務局 次長</p> <p>(議長：委員長)</p> <p>事務局</p>	<p>3 資料の確認</p> <p>4 諮問（社会教育関係団体に対する補助金の交付について） (1) 令和6年度社会教育関係団体補助金交付について</p> <p>5 審議事項 (1) 令和6年度社会教育関係団体補助金について (資料1に沿って説明)</p> <p>社会教育法第13条に、地方公共団体が社会教育関係団体に対して補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の会議の意見を聞いて行わなければならないと規定されている。したがって、社会教育関係団体補助金</p>

<p>委員</p> <p>事務局</p>	<p>交付上限額となる予算額を示すとともに、補助金の交付について審議をお願いする。</p> <p>本事業で交付する補助金は、市民が主体となって青少年の健全育成に対する環境を整え、子どもたちの成長に必要な様々な体験活動を行うことを目的に、青少年の健全育成活動や、子どもたちの様々な体験活動を実施する社会教育関係団体を補助するものである。</p> <p>今年度補助金を交付する4団体に対し、令和6年度補助金の希望を確認したところ、いずれの団体においても補助金を希望するとの意向であった。</p> <p>また、補助金の使途の予定は資料のとおりであり、補助金額については4団体に対し合計18万円となっている。今年度の団体ごとの補助金額については、裏面に参考として記載してある。</p> <p>令和6年度の希望額は、ボーイスカウト坂戸第1団のみ1万円増額希望となっている。そのほか、坂戸市PTA連合会、ガールスカウト、ボーイスカウト坂戸第2団は今年度と同額である。</p> <p>坂戸市PTA連合会は、今年度から11万円の補助金額となっており、これはコロナ禍により事業が縮小傾向となったことが主な理由である。来年度も事業の縮小は継続するとのことで今年度と同額の要望となった。</p> <p>ボーイスカウト坂戸第1団からの増額理由については、文部科学省からの委託事業である「ボーイスカウトと遊ぼう」事業に参加しており、当事業に申込された参加人数に合わせてモノづくりの材料費などを購入しているが、年々参加人数が増えており、材料原価も高騰していることから今回増額を希望するとのことだった。</p> <p>なお、ボーイスカウト坂戸第2団からは、補助金の増額希望は出ていない。ガールスカウトからも同様となる。</p> <p>補助金の交付が適切であるとのことのご意見がいただけたら、令和6年度に所定の手続きを経て補助金の交付を行っていく。</p> <p>要望額に対して意見はないが、「要望」と言われたので要望だけなのか、補助金を交付する側としてこんなところを期待したいというものがあるのか事務局に伺いたい。</p> <p>まず、要望額については各団体からの申し出をそのまま</p>
----------------------	---

	<p>記載させていただいた。この後、ご審議いただき適切であるとのお答えを頂けたら、財政課に予算要求をしていきたいと考えている。ただし、事務局は予算を要求する側になるので、要求通り満額の予算がつくかはイコールではないのでご留意いただきたい。事務局としては、例えばPTA連合会では補助金が減って事業が縮小傾向にあるということで、PTAについても以前とは違って共働きの家庭が増えたということと、他の市町村も含めてPTAの活動自体が縮小傾向にあるということで致し方ないと思っているが、その中でもできる活動をぜひ続けていただき、については学校の子ども、地域の子ども達のために活動をしていただければありがたいと思っている。同じようにガールスカウト、ボーイスカウトについては、地域の皆様に色々な活動をしていただき、色々な事を教えていただければありがたいと思っている。</p>
議長	他に意見等はあるか。
委員	異議なし
議長	意見が無いようなので、令和6年度社会教育関係団体の補助については適切であるとしてよいか。
委員	はい。
議長	<p>異議なしと認める。本議案については、坂戸市社会教育委員会会議として適切であると決定した。</p> <p>今日の審議事項はこれだけだが、委員から協議事項として何かあるか。</p> <p>無いようなので、審議事項は終了する。</p>
事務局 (社会教育課)	<p>6 報告事項</p> <p>(1) 第26回坂戸市埋蔵文化財出土品展の結果について (資料2に沿って説明)</p> <p>令和5年7月19日(水)から7月25日(火)の7日間、坂戸市文化会館ふれあの2階ギャラリーA・Bにて坂戸市埋蔵文化財出土品展が開催された。</p> <p>ギャラリーAでは、坂戸市西部の入西や大家地区を越辺川中流域として取り上げ、入西石塚古墳をはじめとした対</p>

<p>委員</p> <p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>象遺跡の出土品約200点を展示した。</p> <p>ギャラリーBでは、令和元、2年度の2年分の調査成果のうち代表的なものを取り上げ、出土品約90点を展示した。</p> <p>今年度初めての試みとして、ギャラリーAにて学芸員による展示解説を交えたギャラリートークを土日各1回ずつ実施し、合計約90名の来場者が参加された。延べ来場者数は687人となっている。</p> <p>ここで、実際にギャラリートークに参加された委員の方から感想を伺いたいと思う。</p> <p>いつも案内は頂いていたが、行ったことがなかった。今年はギャラリートークがあるということで行ってみたが、ただ見ているだけより、説明を聞きながらだと深く分かったような気がしてよかった。</p> <p>展示した出土品の詳細については、第3回以降の社会教育委員会会議にて学芸員から解説することを考えているので、よろしく願います。</p> <p>(2) 令和5年度子ども大学にしているまの結果について (資料3に沿って説明)</p> <p>子ども大学にしているま事業は、城西大学、明海大学、日本医療科学大学の3大学と、坂戸市、毛呂山町、越生町の各教育委員会により実行委員会を組織し、実施しているものである。</p> <p>令和5年度は小学4、5、6年生を対象に25名、うち坂戸市からは14名の参加により7月24日から8月19日まで計4回実施された。</p> <p>学習プログラム等詳細については、資料のとおりである。</p> <p>一例だと、8月2日(水)に城西大学で行われたマイナス196℃の世界では、凍ったバナナで釘が打てるか等の実験を行った。その他、日本医療科学大学では聴診器を使って体の中の音を聞いたり、明海大学では口の中の清掃状態を確認したりした。</p> <p>参加した小学生からは「聴診器で普段聞けない音を聞いて心に残った」「子ども大学にしているま修了式が悲しいけれど来年もまたいきたい」などの感想があり、保護者からは「普段、学校でのことを話さない子どもが毎回講義内容を楽しく話してくれる」「学校や家庭では学べない内容を小学</p>
----------------------------------	--

生のうちに体験できたことは貴重な経験だった」などの感想をいただき、大変好評な事業であった。

(3) 第5回伝統芸能発表会の開催について

(資料4に沿って説明)

無形民俗文化財の次世代への継承等を目的として、第5回目となる伝統芸能発表会を令和5年11月12日(日)に坂戸市入西地域交流センターの多目的ホールにて開催する。平成27年度から始まった当事業は、コロナの影響等により3年ぶりの開催となる。

当日は、市内の無形民俗文化財保存団体である大宮住吉神楽保存会、入西くどき保存会、三若会、塚越囃子連が集い、伝承された技を披露しあう。

開場は午後1時30分となるので、御都合のつく方は是非御来場いただきたい。

(4) 令和5年度少年の主張大会応募状況について

(資料5に沿って説明)

少年の主張大会は、少年が、家庭・学校・地域の一員として、日常生活を通じて日ごろ考えていることを広く市民に訴えることにより、大人たちの少年に対する理解を深めるとともに青少年健全育成に対する関心を高め、もって青少年健全育成の推進を図るために実施している。

令和2年度からコロナの影響で中止や、規模を縮小して開催となっていたが、今年度は通常開催に戻し11月18日(土)午後1時30分から入西地域交流センターにて実施する。

応募者数は、小学生の部が180人、中学生の部が1687人、高校生・一般の部が16人の合計1883人である。

そこから更に、各学校より最大5作品が提出され、今年度は62作品が第一次審査員による作文審査の対象となる。

そして、1次審査を通過した各部門5名ずつ合計15名が当日の大会で作文発表を行う。

各学校における応募者数に差が生じた理由としては、小学校では夏休みの宿題の自由課題の1つとなり、又、中学校では授業の一環として作文を書く時間を設ける学校があるなど募集方法の違いによるもので、そのため、高校・一般の部については筑波大学附属坂戸高等学校の1校のみの応募であった。

<p>事務局 (スポーツ推進課)</p>	<p>(5) 第19回坂戸市長旗関東還暦軟式野球大会の結果について(資料6に沿って説明)</p> <p>令和5年9月16日から17・18・20・21日の5日間坂戸市総合運動公園軟式球場A・B面で開催された。申込があったのは32チームで関東近隣からである。</p> <p>結果については、第1位ドリームKクラブ(埼玉県越谷市)、第2位アツギJJクラブ(神奈川県)の2チームで決勝が行われ、非常に暑い中であったがドリームKクラブが僅差でアツギJJクラブを下し優勝となった。その他、湘南シルバースターズ(神奈川県)と本庄クラブ(埼玉県)がそれぞれ第3位となっている。最優秀賞等は資料の通りである。大会結果は資料の裏面に記載しており、坂戸市からのチームは17番目のチームとして記載があるが、1回戦の相手が準優勝したアツギJJクラブであり、惜しくも5-2で敗退してしまった。夏に行われた古希野球では優勝され、期待もされていたが残念ながら相手が上回ってしまった。</p> <p>(6) 第22回坂戸市民チャリティマラソンの申込者数について(資料7に沿って説明)</p> <p>令和5年9月30日が申込締め切りであった。前大会の申込者数は1,551名であったが、今年度は1,470名であり若干減っているように見えるが、前回の大会までは筑波大学附属坂戸高等学校が学校の駅伝大会として約500名の参加をいただいていた。しかし、今年度から参加しないとのことで、非常に残念ではあったが今回1,470名の申込み者数で、ランナーの皆さんが戻ってきたと把握している。また、来年に向けて参加人数の増加について考えながら進めていきたいと思っているが、マラソンは令和5年11月19日(日)坂戸市総合運動公園で実施するので、時間があれば是非、参加いただきたい。</p> <p>余談ではあるが、先日10月9日(月)に大学駅伝の中でも3大駅伝の一つ出雲駅伝において城西大学駅伝部が第3位という成績を収められた。おめでとうございます。城西大学駅伝部については、今年の箱根駅伝にてシード権を獲得され、来年1月2日に行われる第100回の記念大会でもシード権で出場されることが決まっている。</p>
<p>事務局 (中央公民館)</p>	<p>(7) 令和5年度公民館・地域交流センター文化祭について(資料8に沿って説明)</p>

令和5年10月22日(日)に中央、三芳野、勝呂、大家、城山、浅羽野公民館の公民館6館で、10月29日(日)は北坂戸、千代田の公民館2館及び入西地域交流センターの3か所で開催する。コロナ前に比べ、若干終了時間を早めている会場もあるが、利用団体の発表をはじめ模擬店やバザー等の開催を予定しており、各会場でコロナ前に近い内容で準備を進めている。

各会場の特徴だが、中央公民館は利用団体等の発表の他、坂戸太鼓、坂戸中学校吹奏楽部の舞台発表等を予定している。三芳野公民館は、住吉中学校吹奏楽部の演奏、金魚すくい、三芳野小学校開校150周年記念で学校内に展示していたものを公民館に移動させ、歴史の変遷をまとめた展示、勝呂公民館は、古本市、子供向けの模擬店、人形すくい、駄菓子の出店を予定。大家公民館は、カラオケのど自慢、子供向けの輪投げ等のゲームコーナー、そば打ちの実演を予定。城山公民館は、城山学園の児童作品の展示、本のリサイクル市、子供向けのゲームコーナーを予定。浅羽野公民館は、浅羽野小学校児童の絵画24点ほどの展示、子供向けのヨーヨーすくい、花・リンゴの販売を予定。北坂戸公民館は、青空市、公募の市民による作品展示を予定。千代田公民館は千代田中学校吹奏楽部の演奏、山村国際高等学校ダンス部の演舞。入西地域交流センターは、ダーツ等のアトラクション、消防車両の展示、野菜販売を予定している。社会教育委員の皆様には、お時間があれば御来場いただきたい。

(8) 令和6年坂戸市二十歳のつどいについて
(資料9に沿って説明)

二十歳のつどいに名称を変更して2回目の開催となる。令和6年1月7日(日)に中学校区ごと7会場での開催を予定している。参加対象者は、平成15年4月2日から平成16年4月1日生まれの方で坂戸市に住民登録されている方及び転出者で坂戸市の二十歳のつどいに参加を希望する方。本市に住民登録のある対象者数は、8月1日現在の数字で1,209名である。二十歳のつどいは、二部制を予定している。第1部は、市及び坂戸市教育委員会が主催する式典を実施し、第2部は会場ごとに実行委員会が主体となり開催の有無及び内容を検討中。通常第2部では、恩師との歓談やビデオレターの上映などが行われている。

令和6年坂戸市二十歳のつどいに関しては、通常開催に

	<p>向けて各会場準備を進めており、各会場で第1回実行委員会を開催し、今後の準備等について確認したとのこと。今後、第2回・第3回の実行委員会を予定しており、来賓招待についても現在のところ通常通り予定している。対象者にとっては一生に一度の式典なので、できる限りのことを行い開催に向けて努めていきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>以上のことについて、質疑等はあるか</p>
<p>委員</p>	<p>公民館文化祭について伺う。私は、入西地域に住んでおり、入西地域交流センターからはセンター長から開会式の案内がきているが、他の会場についてはどうか。社会教育委員へ案内がされているか、入西だけなのか。コロナ等の関係で久しぶりの開催となり、出席してよいのか気になっている。</p>
<p>事務局 (中央公民館)</p>	<p>社会教育委員の皆様には、教育長名でご案内させていただいている。市内9会場全ての会場で招待している。さらに、地域の委員、議員等々の方々に案内状を送付している。開会式での登壇者については、各会場の判断となっているため一律ではないことを御理解いただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>承知した。</p>
<p>委員</p>	<p>少年の主張大会について、去年、審査員を務めたが小・中学校は大会まで辿りつくために、非常に狭き門をくぐり抜けなければならない。しかし今回は、高校・一般の部については、高等学校1校から提出された5作品がそのまま大会に上がることになっている。発表できる人数は、現状に合わせて部ごとの選出数を増減する等の議論はされているのか。</p>
<p>事務局 (社会教育課)</p>	<p>今、御質問された通りである。今年度、高校・一般の部では高等学校1校のみからの応募となった。しかし、昨年度と一昨年度は高校・一般の部からの応募が全くなかったため、1校でも参加する学校があったのは良かったと思う部分もある。</p> <p>現状の実施要領では、作品数に対する発表者の割り当ての規定がなく、各部門5名の発表を可としている中、例えば</p>

	<p>今年度の高校・一般の部からは2名の発表者の選出にしてしまうと、現状の実施要領をかんがみた際、好ましくない。</p> <p>そのため、作品数に応ずる発表者数については、今後検討したいと考えている。併せて、各部門の発表者数を増やすことについては、来年度の埼玉県の大会に各部門で6名までの推薦が可能となっている関係で、5名と絞らせていただいている。これは、県大会への推薦で学年が1年ずれることが原因である。例えば、小学校6年生が現年度に発表した場合、来年度の県大会では中学生の部での発表となる。そのため、現年度に中学生の部で6名を選出してしまうと、来年度の県大会では中学生の部からの選出が7名になってしまう懸念があるため、現状は5名の選出としている。これを最大6名までの選出とするかについては、来年度の検討課題とさせていただきたい。</p>
委員	<p>今の件で、小・中学校共通して学校により応募者数に差があるのはなぜか。小学校は夏休みの宿題になっているし、中学校は授業の一環であるというのは分かるが、それでも応募者数がゼロの学校もあれば、応募者が1人のみの学校もある。そうかと思えば、応募者が79人もいる学校もある。それはなぜか。</p>
事務局 (社会教育課)	<p>考えられることの一つとして、夏休みの宿題の選択肢の中に読書感想文があり、児童にとっては読書感想の方が身近に感じられ、書きやすかったのではないかと。また、各校によって宿題数に差があるようなので、夏休みの自由課題がある中での宿題数の減少も一因ではないかと。中学校については、授業の中で取り扱った学校とカリキュラムの中で取り扱えなかった学校があるのではないかと。そうすると、生徒にとっては選びにくい課題だったのかもしれない。来年度以降は、多くの方に参加していただけるよう宣伝方法も含め検討していきたい。</p>
議長	<p>その他、質疑等があればお願いしたい。</p>
委員	<p>意見なし</p>
議長	<p>続いて、その他として委員の方から報告事項があればお願いしたい。</p>

委員	意見なし
事務局	<p>7 その他</p> <p>第3回坂戸市社会教育委員会議の日程について</p> <p>今回は、12月14日(木)午後2時から城西大学坂戸キャンパスを予定している。先日、城西大学に伺い会場となる場所を確認した。その中で、新しく完成した23号棟が非常に大きな建物で、学生の利用も多いので施設の見学ができると了解をいただいた。当日は、直接車で大学にお越しただいて構わない。しかし、駐車台数等の確認をしたいので会議の1週間前までに出席を確認させていただきたい。改めて開催通知に記載させていただくが、現地集合・現地解散を考えている。委員の皆様から御意見はあるか。</p>
委員	意見なし
事務局	<p>それでは、当日は動きやすい靴等でお越しいただき、大学入口や駐車場に職員を配置し、委員の皆さんが迷わないようにしたいと考えているので、よろしく願いしたい。</p>
委員長	<p>7 答申(社会教育関係団体に対する補助金の交付について)</p> <p>(1) 令和6年度社会教育関係団体補助金交付については、適切であると認める。</p>
事務局(司会)	<p>続いて、社会教育委員研修会について委員の方から御連絡をお願いします。</p>
委員	<p>令和5年度入間地区社会教育委員研修会が予定されている。これは年に1度開催される研修会だったが、ここ数年コロナの関係で、昨年度は前代全体会のみ開催。その前は、坂戸市が当番だったので入西地域交流センターで全体会のみ実施した。今年度はコロナが多少収まったということで全体会に加え分科会を行うこととなり、今年度はふじみ野市が会場市となり、分科会を3つに分けて実施することとなった。その1つの分科会で私が司会進行を仰せつかった。</p> <p>定員も20名と少ないため、話の最初のきっかけとして坂戸市の社会教育委員会議での様子を紹介したい。特に、学校と社会教育委員ではこのようなことをやっているという一つの問題提起として、話のきっかけを作る意味で坂戸市</p>

	<p>の社会教育について、学校との関係等ということで資料提供することにした。</p> <p>資料内容については、事前に事務局に確認をとっている。坂戸市の社会教育委員会議の特徴等について話したいと考えている。これは坂戸市の宣伝ではなく、坂戸市で実施していることが一つの会話のきっかけづくりになればいいと考えている。この研修会は、結論を求めたりこうしていこうと決めたりする研修会ではないので、委員の皆さんには事前にご承知おき頂きたい。</p> <p>また、このあと学校教育課に行く予定であるが、最近、社会教育委員部会13市町で「コミュニティスクール」が話題となり、特に日高市では社会教育課が主催して実施している。その中で、各小中学校のコミュニティスクール、これは昔で言うところの学校運営協議会であるが、この委員になっている方、社会教育委員としてではなく違う形で小中学校コミュニティスクールの委員になっている方がいるか知りたい。</p>
委員	<p>単位PTA会長として所属している。</p>
委員	<p>学校長として所属している。</p>
委員	<p>委員として選ばれているのはどういう経緯か。</p>
委員	<p>昨年度からの実施なので、誰を選ぶかは各学校の校長によって違うが、PTA会長には是非、委員をお願いしたいと依頼している。</p>
委員	<p>了解した。</p>
副委員長	<p>8 閉会</p> <p>長時間にわたり、慎重審議お疲れ様でした。</p> <p>ガールスカウトでは、4年ぶりに県外のキャンプ場へ行く予定だが、バスをチャーターするにはお金がないので、電車を乗り継いで行く。子ども達からは移動がバスではないことを憂いた声を聞くが、外へ行ける喜びをかみしめていきたいと思う。気候が定まらない今日この頃なので、お身体ご自愛していただきご活躍されることを祈念し、第4回坂戸市社会教育委員会議を閉会する。</p>